

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会
2023年 第1回教育研修委員会 議事要旨

日時：2023年4月15日（土）7:00～7:35

場所：札幌コンベンションセンター 1F 101

出席者（敬称略）：竹下 克志、八木 満、高橋 淳、中川 幸洋、永島 英樹、酒井 紀典、
出村 諭、本郷 道生、宮本 裕史、國府田 正雄（委員会名簿順）
嶋谷 瑞穂、佐藤 佑也（コングレ）

1. 第21回脊椎脊髄病研修コース 開催報告

◆ 収支予算報告

- ・ 本会の収支予算案について、運営事務局（コングレ）より報告を行った。
 収 入：5,715,000円
 支 出：9,691,595円
 学会補助金：3,976,595円
- 前回に比べ、参加者が約100人減少し、参加費収入が約100万円減少した。
- IVコース モニタリング試験の費用について、日本脊椎脊髄病学会様から研修コースの収入として含むよう指示があったため、今回の収支予算案から収入の一部に含むこととする。
 ※モニタリング試験の費用とは、モニタリング認定医申請のための申請料10,000円および認定料10,000円を指す。
 ※前回20回までは研修コースの収入としては含めていなかった。
 ⇒その後、学会事務局様より、「昨年通り学会本体からお支払いする」とご連絡があり、21回研修コースの収支には含めないこととなった。
- 機材関係費は、会場が札幌（横浜より単価が安い）ということもあり、約55万円の減少となった。
- 前回20回と比べ、主に機材関係費の支出を抑えたものの、参加者減少により収入が減ったため、学会補助金は約45万円増加し、3,976,595円となった。
- 前回20回は横浜市の「安全・安心な横浜 MICE 開催支援助成金」(50万円)が交付されたため、学会補助金は約280万円だったが、助成金無しの場合には約330万円となっていた。
- 最終の決算案については、事後業務が終了次第、運営事務局より再度報告することとする。

◆ I～IVコース開催概要、当日の流れ

- ・ 運営事務局より、本会の当日の流れについて説明した。

2. 22回研修コース コースマネージャーについて

22回のコースマネージャーは以下で決定となった。

Iコース：國府田先生

IIIコース：中川先生（継続）

IVコース：吉田先生（継続）

3. 第22回脊椎脊髄病研修コース 検討事項

運営事務局より、第53回日本脊椎脊髄病学会学術集会の開催にあわせ、2024年4月20日（土）にパシフィコ横浜 アネックスホールで開催する予定であることを説明した。

◆ 部屋

- ・ Iコース現地 2F F203+F204（スクール150席）
- ・ IIIコース講義 2F F205（スクール40席）
- ・ IIIコース実技 2F F201+F202（島組10組）
- ・ IVコース 2F F206（スクール72席）

※Iコース現地とIVコースは、上限各70名で参加登録を開始する。先に上限に達したコースは参加登録可能数を増やすこととし、状況次第でIコースとIVコースの部屋を入れ替える方針で今後検討する。

4. 今後の流れ

運営事務局より、今後のおおまかなスケジュールを説明した。

【2023年夏頃まで】

- ・ コースマネージャーを中心に、講演テーマや講師をご検討いただく。

【2023年11月末頃まで】

- ・ コースマネージャーに、各講演テーマや講師を決定していただく。
⇒その後、正式依頼ののちプログラムを確定する。

【2024年夏2月～】

- ・ 参加登録開始

5. その他

◆ Iコースオンライン必要性有無

- ・ 22回大会以降、Iコースオンラインを廃止する方向で、竹下担当理事に理事会にて諮っていただくこととする。主な理由は以下の通り。
 - 本研修コースは知識の取得というよりも、資格取得の要素が強まっている。
 - 講師にとって、講演動画作成の負担が大きい。

- Iコースオンラインの廃止により、支出の削減（21回の場合、約80万円）につながるのであれば、収支予算的にも廃止したほうが良い。

◆ 会場費

- ・ 23回以降は貸会議室等で開催することを検討してはどうかという意見があった。
 - 本研修コースは学術集会に合わせた場所で例年開催してきたが、小規模のコースであることを鑑みると、ホテルで開催すると会場費が高額になる可能性が高いため。
 - 通常は、学術集会側から指定されて会場が決まっていたが、23回大会以降は他の会場で開催可能か学術集会側と協議の上検討を進める。

次回委員会：2023年夏頃を目安にオンラインにて開催する。

以上